

ヴェーダ

V E D A (ヴェーダとは
サンスクリット語で
“癒し”を意味します。)

地域の皆さん向けの広報誌

基本理念

わたしたちは地域の中核病院として皆さんの健康を守るために、質の高い医療を提供し共に歩みます。

基本方針

- 患者さんの人権と権利の尊重
- がん医療、救急医療、生活習慣病を中心とした医療の推進
- 地域の医療機関、保健福祉施設との連携強化
- 職員の働きやすい職場づくり

平成27年 南加賀地区地域医療連携講演会を開催

テーマ

総務省公認の若手鬼才(元)医師がおくる、
“エンタメ・ゲームのノウハウで医学をすっきり理解”
6月10日(水)午後7時 ホテルサンルート小松



南加賀地区の病院、診療所、介護施設、訪問看護ステーション、居宅介護支援事業所、薬局の方々140名のご参加を頂きました。

株式会社サイアメント 代表取締役社長で医師の瀬尾 拓史(せお ひろふみ)先生をお招きして「総務省公認の若手鬼才(元)医師がおくる、“エンタメ・ゲームのノウハウで医学をすっきり理解”」のテーマで講演会をおこないました。

東京大学医学部医学科を卒業され、医師として、またサイエンスCGクリエイターとしても現在活躍されています。(CG: コンピュータグラフィ



ックスといい、コンピューターを使って描いた画像)

講演会では先生がCGに興味をもったきっかけや、人生を大きく変えることになった人との出会い、CG作製における時代背景について話されました。裁判において、鑑定書記載内容(解剖の写真や文章)をCGとして再現することで、専門知識や専門用語を知らない一般から選ばれた裁判員が、状況を理解できるように補助することになります。その反面、自分のCGで被告人の量刑がかわってしまうことへの戸惑いがあり、中立に作製することの大切さを話されました。また、心臓に穴の開いた少女が先生の作製したCGを使って説明を受け、自分の病気を理解でき「ありがとう」と言われ、少女の役に立ちよかったと思ったことなど話されました。

会場で心臓シュミレーターの鮮やかな動画が写され心臓の弁の動き、血液の流れが躍動的に表され感動したという参加者の感想がありました。



看護の日イベント



平成27年5月12日(火)に
「地域でささえあい家族とともに生きがいをつつまでも」
をテーマに病院中央待合室ホールにおいて
看護の日のイベントをおこないました。

「看護の日」とは、
フローレンス・ナイチンゲールの誕生日“5月12日”にちなみ、
看護に対する理解を深めるための記念日として
制定されています。

中央待合ホールにおいて、カブッキー
のぬいぐるみと一緒に音楽にあわせロコモ
体操をおこないました。会計を待って
いる時間を利用し、体操に参加して
いただきました。

「ロコモ」とは「ロコモティブシンドローム
(運動器症候群)」のことで、加齢とともに
筋肉、骨、関節などの運動器が衰え、
歩くことや日常生活に支障が生じている
状態をいいます。高齢になっても自分らしい
生活を送るため、短い時間でも体操
を取り入れていただけたらと思います。



また、手洗い体験では、特殊なクリームを手に
塗り、実際に手洗いをした後、特殊な光を当てると
洗い残しが分かるという体験をしていただきました。

自分ではしっかり洗ったつもりでも爪の間、指
の間、手首に汚れの洗い残しがあり、「しっかり洗
ったのにまだ、残ってる。」と驚かれています。多く
いらっしゃいました。

看護の日に向けて患者さんから看護師へのメッセージとして、看護師の言葉
で印象に残った言葉や心に響いた言葉、看護師の対応をお書きいただいたもの
を貼り出しみなさまに読んでいただきました。





8月12日(水) 緩和ケア病棟で夏祭りが開催されました

今年も緩和ケア病棟の夏祭りが皆さんの協力で賑やかに行えました。

グループ“和音”の皆さんによるお琴と電子ピアノの演奏がありました。お琴と電子ピアノがマッチして、唱歌を口ずさむ人、ベッドを囲んでご家族と一緒にじっと耳を傾ける人とゆったりとした時間を過ごすことができました。

ボランティアの方々による手作りの提灯や花火の壁絵などを飾りつけて夏祭りらしいラウンジを準備して頂きました。演奏会の後は、ジュースやたこ焼き、ゼリーを食べながら輪踊りをしました。ある患者さんは「小学校以来だわ…楽しかった」と輪踊りできたことをとても喜んでいました。

一ヶ月前から準備頂いたボランティアグループ「おひさま」からは次のような言葉をいただきました。

年に一度の夏祭り。晴れやかな気分で患者さんも私たちボランティアも待ち遠しい病棟のイベントです。前年度の記憶を頼りに看護師さんと共に準備をすすめました。浴衣姿の看護師さんが清々しく、いつもの見慣れた白衣から和服をまとった大和なでしこに感動しました。

病院が用意されたメニューは特にたこ焼きが喜ばれたようです。最後の輪踊りでは患者さんや小学生の飛び入り参加もあり踊りの輪に花が見事に咲いた、楽しいひと時でした。

患者さんやご家族の喜びの表情が私たちボランティアには何ものにも代えられない感激でした。



topics

トピックス

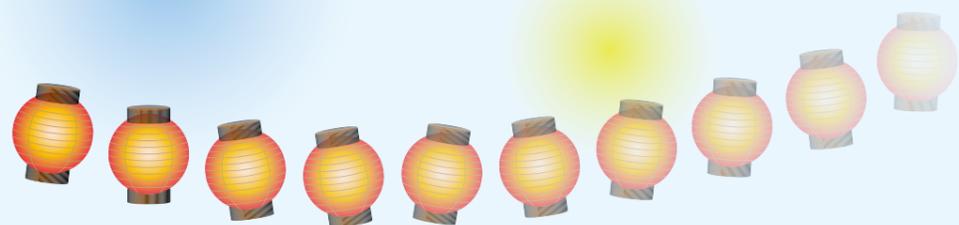
第7回 緩和ケア病棟ボランティア養成講座を開催しました

緩和ケア病棟が平成21年4月に開設されて以来、緩和ケア病棟ボランティア「おひさま」の皆さんには、喫茶サービスや病棟行事の企画・運営のお手伝い、患者さんやご家族の話し相手、季節ごとの病棟の飾りつけなど多岐にわたる活動で、患者さん・ご家族の療養を支援していただいています。平成27年7月現在、22名の方がボランティア登録をされています。

この度、新たにボランティア活動を希望される方を対象に、7月10日(金)第7回緩和ケア病棟ボランティア養成講座を開催し、4名の方に受講していただきました。

講座では、緩和ケアの精神や基本方針、緩和ケア病棟の特徴や療養生活の実際、患者さんとのコミュニケーションの取り方について当院職員からお話をさせていただきました。またボランティアさんから、実際のボランティア活動の様子や患者さんとの交流について報告がありました。病棟見学や先輩ボランティアさんとの座談会を通じて、病棟での活動のイメージをつかんでいただくことが出来たのではないかと思います。

講座終了後、受講された4名全員がボランティア登録をしてくださり、先輩ボランティアさんと一緒に活躍いただいています。





平成27年1月
国民健康保険 小松市民病院の2階に
ピアサポートサロン
かたろーさ
“Kataro-sa”
が誕生しました。

厚生労働省は、全国約400のがん診療連携拠点病院に、がん相談支援センターを設けて対応しているほか、がん経験者(サバイバー)が支援するピアサポートの拡大に尽力(平成26年度がん相談支援事業に関する報告書より)しており、その一環としてサロンは作られました。

病いを抱える方々が、いろいろな思いを語れるようにという願いをこめて、“Kataro-sa”と名づけられました。

“Kataro-sa”の主な特徴は、3つあります。

1つは、平日9時～17時まで、自由に利用していただける空間になっているということです。

2つめは、1週間に2日の割合で、ピアサポーターさんが来られているということです。

ピアサポーターさんは、外来に通院されている患者さんや入院されている患者さん、ご家族の話を丁寧に聴いてくださっています。

3つめは、1名の看護師が常駐しているということです。

平成27年1月～8月末日までの期間に、このサロンを訪れた方の人数は、延べ約130人。

相談の内容は、主に治療方針について、安楽死について、セカンドオピニオンについて、余命告知を受けた不安な気持ち、死への不安な思い等々があります。

そして毎日のように、入院のフロアを越えて、患者さん同士で情報交換したり、励ましあったり、話を聴いたりしている光景を目にします。がんの告知、治療という体験を通して、痛みや不安な気持ち、悲しみ、苦しみを分かり合えて、励まし合っています。優しいオルゴールの音色にも包まれて、まさしくピアサポートのサロンになっています。

外来に通院されている患者さんやご家族の方々、また入院中の患者さんやご家族の方々、お近くにお住まいの方々、医療に携わっている方々、ぜひ2階のKataro-saに足を運んでみてください。心よりお待ちしております。



ピアサポート
かたろーさ
Kataro-sa
活動カレンダー

月～金曜日 9時～17時は、
いつでもご利用いただけます。
お気軽にお立ち寄り下さい。

平成27年9月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2 すまーとの会 14:00～16:00	3 ピアサポーター 10:30～12:30 就労支援事業 13:00～17:00	4	5 休
6 休	7 ピアサポーター 10:30～12:30	8	9	10 ピアサポーター 10:30～12:30 就労支援事業 13:00～17:00	11	12 休
13 休	14 ピアサポーター 10:30～12:30 お薬相談会 14:00～15:00	15	16	17 ピアサポーター 10:30～12:30 就労支援事業 13:00～17:00	18	19 休
20 休	21 敬老の日 休	22 国民の休日 休	23 秋分の日 休	24 ピアサポーター 10:30～12:30 就労支援事業 13:00～17:00	25 「和会」 13:00～15:00	26 休
27 休	28 ピアサポーター 10:30～12:30 お食事・栄養相談会 14:00～15:00	29	30			

平成27年10月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3 休
4 休	5 ピアサポーター 10:30～12:30	6	7	8 ピアサポーター 10:30～12:30 就労支援事業 13:00～17:00	9	10 休
11 休	12 体育の日 休	13	14 緩和ケア ドクター相談会 10:00～11:00	15 就労支援事業 13:00～17:00	16	17 休
18 休	19	20	21	22 ピアサポーター 10:30～12:30 就労支援事業 13:00～17:00	23 「和会」 13:00～15:00	24 休
25 休	26 ピアサポーター 10:30～12:30 お食事・栄養相談会 14:00～15:00	27	28	29 ピアサポーター 10:30～12:30 就労支援事業 13:00～17:00	30	31 休

小松市民病院 がん相談支援センター TEL:0761-22-7111



ICHICON

ゆかいな仲間のハーモニーと題して

8月26日(水)14:00から中央ロビーで小松市立高校合唱部による音楽のプレゼントがありました。

プログラムは

- *NHK連続テレビ小説「まれ」より
希空(まれぞら)
- *やさしさに包まれたなら
- *カントリーロード

等の合唱でした。

毎年の訪問ですが、昨年よりも沢山の部員で参加していただきました。澄んだ歌声がホールに響きわたり、心が癒されました。



topics
トピックス

第9回市民公開講座開催のお知らせ

11月7日(土)13:30より、こまつ芸術劇場うらら小ホールにおいて「小松市民病院における最新のがん治療」と題して、第9回市民公開講座が開催されます。

内視鏡を用いた胃がん、大腸がんの治療、最新の乳がん治療について、内科医、外科医、形成外科医からの講演です。参加費は無料です。ぜひ市民の皆様の参加をお待ちしております。

編・集・後・記

暑い夏が過ぎたと思ったら、梅雨が逆戻りになったと思うほどの雨が続いています。秋なのに過ごしやすいというよりも肌寒く感じ、体調管理が難しい日々です。気象情報では「大気が不安定な状態が続いています」といわれますが、これも異常気象のひとつなのかも知れません。地球は少しずつ変化しているのでしょうか。いろいろなことが変化していくなかで、人として医療者として、相手を思いやる気持ち、気遣う気持ちはいつまでも変わらず持ち続けたいです。(澤田)



国民健康保険 小松市民病院

〒923-8560 石川県小松市向本折町ホ60
TEL(0761)22-7111(代) FAX(0761)21-7155
URL <http://www.hosp.komatsu.ishikawa.jp/>
E-mail cbsomu@city.komatsu.ishikawa.jp